

この度多くの方々の協力とお薦めもあり、さういながらもようやく新聞の発刊にこぎつけることができた。

思えば情報化社会が叫ばれ、情報の氾濫している今日、この町の生い立ちは文献上では定かではないが、江戸時代の後期片貝村新料の庄屋太刀川喜右衛門（文橋）の著した『やせかまど』によればその当時から数えても六百年近い歴史がある由緒ある村だと書かれている。

かつては文化の香り高い街として自他ともに認めるこの町にとつて、文芸紙や新聞の一つもなく、そこに住む町民の活動ぶ

が、行政で発行している市報や民間の地方新聞など、きわめて部分的なものに限られ、片貝独自の情報として一般町民に広く知られていないことは衆知の通りであり、ここに住む人にとって、情報の遅れというかある意味で、不幸な一つだといわなければなるまい。

従つてこの町にいま現実に起つている問題についても、一部知ることのできる人はともかくとして、他の多くの人達は井戸端会議で交される噂としての域をでないのが現実である。

この町のなかにも多くの文化団体や行政にかかる

主張

わる団体があつて、それ
ぞれの役職に就任せられ、
自己を犠牲にして非常な
努力を払われているにも
かかわらず、その団体が
どこでどういう活動し、
役員がどのように選出さ
れているかについては、
まつたく知られていない
のが現状で、その結果ど
片貝まつりのように燃
えるような郷土愛と、考
若男女一丸となつて繰り
展げるあの姿は、他町村
に誇り得るもの一つで、
ある反面、逆に見る人に
よつては脅威を与えられ
ると表現する人もなかに
はある。
たしかにこの町の住人

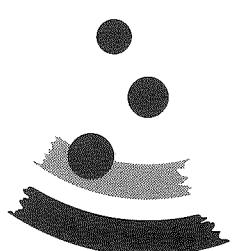
市は平成八年三月に第一次総合開発計画が終了するところから、平成八年度から平成十七年度までの第二次総合開発計画を策定するために準備を進めている。(この開発計画の基礎資料にするために、市民意向調査を実施)結果がまとまつたので、市内七会場で地域懇談最終会場となり、六月二日午後七時から九時まで片貝地区会を実施した。片貝地区は

市民意向調査もどきある
片貝の将来は住宅ゾーンを望む?
懇談会では佐藤家購入を迫る

片
目
錄
P
A
I

発行所
片貝新聞社

元947-01
小千谷市片貝町10367-4
TEL・FAX 0258-84-3246
編集発行 吉原芳郎
題字 里嶺敬浪先生



シンボルマーク

引
ない者や、この町の住人でも途中で住みついた人にさえ、時には疎外してしまう排他的な一面も、同時に持ち合わせており、町外から見は特殊地域として注目されていることも事実である。

そこで、協議会をはじめてする町内またはそれ

に関連する各種活動を一般市民に知つてもらことによつて、現実にりつある姿を直視すこと同時に、広く外に向ても視野を広めお互に反省し合つて、少しも環境のよい、より住良い生活の向上を図るとともに、これから複多岐な社会に適合する材の育成に寄与する

「街並みの美しさ」
「道路の除雪」「学校の施設
害からの安全」「風紀の良
い検診等の受けやすさ」
「幼保施設設置状況」
「環境の豊かさ」「日当り・風
の豊かさ」「伝統行事の豊か
さ」逆にマイナスイメージ
著なのが「避難場所整
況」「道路交通の安全」
供の遊び場等」「スポー
ル」「娯楽場等」「社会福祉社
会的、市

市平地より3.5倍と併せて逆に「住みにくい」6.4%、「やや住みにくい」13.2%で合計19.2%で市平地よりも高かった。
「環境全般の評価特性」は、片貝町民がプラス

のマ0.6は車両で置き特な

特に市平均と違う点は、プラスイメージでは「学校の施設や環境」「幼保施設設置状況」「伝統行事の豊さ」で中でも「伝統行事の豊さ」は市平均の0.1に対し片貝は0.6と大きく上回っている。マイナスイメージで顕著なのは「子供の遊び場」、市平均は0.8であるので差は0.1しかないが、数値のプラスの最高値が2、マイナスの最高値が-2を考慮すると0.8はかなり高く、大きな不満を抱いていることが分かる。(事実、懇談会ではこの点に意見が集中した)後述「生活基盤の準備」についての問い合わせでは、片貝は「下水道整備」44・5%が断然トップ、次いで「流雪溝・雪消パイ整備」17・2%、「防災・防犯体制」8・1%、「リサイクル・ごみ減量化」8・1%の順となっている。「芸術文化・スポーツ施設整備の優先順位」は、片貝は①図書館・公民館の整備

秋で現で新藝で、意味を充分意識したのであるからこそ、「春秋」もこれら「春秋」の「主張」欄と並んでゆく覚悟であります。公平な視点で物の運営も持つべきである。▼片貝は統のまちであり、三重県二位の「五辺、五ノ町」、三（60、町裏）金（い）ノ町）、（代表監事敏雄（69、四之三）教育課長、社会委員会長、片貝中学校会に出席。5/13ボランティア大綱会に出席。5/225/15片貝町協議会会員評議員会（サン）小千谷市社会福祉会新旧片貝中学校会

新規開拓地の開拓が発	地域活性化	藤塚直	と推察さ
安達菜太郎	大平賀(52)	に出席	あるものは金、力のある
6/7 都市開発課長・企画課 課長より佐藤家屋敷跡地を	6/7 都市開発課長・企画課 課長より佐藤家屋敷跡地を	ものは労力を出し合つて	ものには労力を出し合つて
について説明を聞く	について説明を聞く	自分達の地域をよくする	自分達の地域をよくする
事) 横山省郎(56) 四 監事) 山田町)	6/9 佐藤家屋敷跡地を	職して命名	職して命名
6/9 佐藤家屋敷跡地を	6/9 農林課より土採集のキ の緑化について説明を	ために自分達の力をもつ	ために自分達の力をもつ
に購入して頂くようす にお願いする	聞く	て歴史と伝	て歴史と伝
6/22 「一般地方道岩野塚山 道路改良工事」についての陳 述長、学校	6/22 新長期構想策定に係 域懇談会出席	他に比類	て朝陽館(後の耕読室)
体育課長) 校長歓送迎	6/19 佐藤家屋敷跡地につ いて説明を聞く	た土地であ	に設立、運営した。この
6/25 東京片貝会に出席	6/20 権者説明会	に寄与したいと願い、片	コラム欄に
くしかも町民から愛され 新聞として成長される事	聞く	人は知りたいと願い、片	く所存ある。
思ひます。		貝新聞発行を決意した次 財力の第である。	ある。社説

